

8月3日神戸新聞北播版には、生活科学科がいつもお世話になっているJAみのりから神澤会長が来られ、野球部にお米をいた

だいたの様子が掲載されました。日頃から、商品開発等で生活科学科がお世話になっており、広報誌にもレシピなどを掲載させていただいており、地域連携を深めているところからの応援です。多くの方々が社高校に関心を持っていただき、またご支援いただいていることに本当に感謝の気持ちで一杯です。今後も多くの場面でお世話になることもあろうかと思いますがよろしく願いいたします。

8月3日は野球部が宿舎入りをし、抽選会場に向かいました。その際に、県立教育研修所前のバス停付近で、

加東みらいこども園の園児たちが「やしろこうこうのおにいちゃん がんばれ ふぁいと」と書かれた横断幕を持って待っていてくれました。選手たちは、遠征の荷物をバスに積み込み、学校を出発。園児たちの熱い声援を受けながら宿舎に向かいました。園児の皆さん、暑い中、ありがとうございました。選手たちも元気をもらったことと思います。

またこの日は、生活科学科のオープン・ハイスクールでもありました。100名を超える中学生と保護者、中学校の先生方が来校され、6教室に分かれて、学科長の学科説明、保育、調理、施設見学など在校生がローテーションして密にならないように工夫して学習内容などを感じていただきました。短い時間では十分に理解できないこともあろうかと思っておりますので、詳細な内容を知りたい場合は個人的にご連絡いただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。本日は暑い中、ありがとうございました。

この日午後からは全国高校野球大会の抽選会が行われ、本校は8月9日大会4日目第4試合に県立岐阜商業高校と対戦することになりました。応援態勢を整えて臨みたいと思います。生徒の皆さんの協力をお願いします。また、加東市でも応援態勢をとっていただけるようです。HPをご覧ください。

8月4日・5日は普通科オープン・ハイスクールです。暑い中500名を超える中学生に来ていただきました。密を避けるため全体での集合をせず、最初から体験授業の班ごとに教室に入ってもらって、学校紹介ビデオ鑑賞、体験授業、施設・部活動見学をしました。多くの中学生・保護者の皆様に関心を持っていただいていることに感謝すると同時に私たち自身も気持ちを引き締めて行かねばならないと思っています。ありがとうございました。

8月3日から始まった陸上の全国インターハイ。初日は男子ハンマー投と八種競技前半が行われました。八種競技の三和選手は、ベスト記録に近い状態で前半を20位で折り返しました。ハンマー投は、伊藤選手が残念ながら予選を通過できず敗退。山口選手は失敗投擲ながらギリギリで予選を通過すると決勝1回目にベストに近い記録(64m台)をマークし、トップに立ちました。しかし2回目に香川県の選手に逆転され、2位に。5回目には自己ベストの66m台で大会新を記録しましたが順位は変わらず、最終投擲でも記録を伸ばせず2位で終了。15cmという僅差で優勝を逃しましたが、大舞台で自己記録を更新する素晴らしい投擲に、最終日の円盤投も期待が持てそうです。陸上部は良いスタートを切りました。





そして抽選結果からの新聞記事は神戸新聞が左2枚、次に



毎日新聞、読売新聞と続き下段に朝日新聞2枚の掲載がありました。神戸新聞では障害のある子供たちの通う「ふらっぶ」という放課後等デイサービスから雑貨販売収益の一部が寄付された内容が、読売新聞には加東みらいこども園の園児たちの応援記事が掲載されていました。対戦相手の決定と各校インタビューの記事内容、朝日新聞には対戦表が掲載されていました。いよいよ盛り上がってきました。野球部の

の選手の皆さんは対戦相手も決まり、気持ちも入ってきたと思います。体調を崩さないように気をつけて、がんばって欲しいですね。皆さんの温かい応援をお願いいたします。

一方で新型コロナ感染は、新規感染者が微増し、8月3日には最も多い感染となりました。すでに兵庫県民の1割以上に当たる方が感染していることになるのですが、暑さ対策と共に密なところでのマスク着用は勿論、うがいや手洗いなどまめに行い、換気も積極的に行ってください。社会を止めていない今、自分たちで感染防止対策をしっかりとることで感染しないように心がけるしかありません。一人ひとりの自覚が大切です。よろしく願います。